



Title	オープンアクセスを巡る状況と大阪大学におけるオープンアクセス支援
Author(s)	大阪大学附属図書館
Citation	
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/102690
rights	This article is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

オープンアクセスを巡る状況と
大阪大学におけるオープンアクセス支援⑦



大阪大学のオープンアクセス支援① APC支援



APCの免除・割引①

■APCの全額免除 (Read & Publish契約 = 転換契約)

- Cambridge University Press (CUP)
- Royal Society of Chemistry (RSC 英国王立化学会) ※年間上限本数あり

→上記出版社が発行するジャーナルは、

本学構成員が責任著者であれば、無料でオープンアクセス化 = APCの支払い免除

※次年度以降の契約は未定。

■APCの条件付き免除 (Read & Publish契約 = 転換契約) →後ほど紹介

- Elsevier
- Springer Nature
- Wiley

APCの免除・割引②

■その他 (APCの割引等)

- 下記Webページ記載の出版社/ジャーナルにAPCの割引あり。
- その他の出版社においても、著者がジャーナル発行学会の会員である場合など、割引が適用されることがあります。

APC（オープンアクセス出版料）の免除・割引

<https://www.library.osaka-u.ac.jp/research/apc/>

転換契約（条件付き）のAPC免除・割引

■対象出版社

- Elsevier（ハイブリッド誌の一部）
- Springer Nature（ハイブリッド誌の一部）
- Wiley（フルOA誌を含む**全てのジャーナル**）

※本数制限あり（研究者毎の利用回数制限はなし）

■内容

- **APC免除**。ただし、転換契約利用料として**大学へ一部負担金を支払う**。
- 負担金額は、**CSPや申請者の区分、国際共著論文かどうか**によって異なる。

■利用条件

- **出版社へのOA申請と併せて、大学への申請（Forms）**が必要。
- Elsevier/Springer Nature/WileyフルOA誌について、**CSP*が50以上**のジャーナル
- 第一著者又は責任著者が、本学の研究者又は学振特別研究員（後ほど説明）

* CiteScoreパーセンタイル (CSP)
Scopusデータに基づいたジャーナル評価指標で、各分野における当該ジャーナルの相対的な位置を示す数値です。

■留意事項

- 対象ジャーナルやその他**詳細**、**残り本数は、マイハンダイにて要確認**。
- 年度途中で条件等を見直す可能性あり。

その他のAPC支援（英語論文投稿支援事業）①

■ 概要

研究成果の国際的発信力を一層高め、大阪大学の研究力の強化につなげるため、本学の研究者が第一著者ないし責任著者として質の高い英語論文を国際ジャーナルに投稿し採録された場合、オープンアクセス掲載料(APC)を支援する。

■ 実施経緯

オープンアクセス誌への掲載費サポートをしていただけると助かります。OAは掲載費が高いので、やはり研究費稼ぎに苦労しており、さらに校費が削減されている研究者は、経済的理由で投稿をためらってしまうことが多いです。このサポートがあると、間違いなく、一定水準を満たした成果を発信する数は上がると思います。

(理学研究科 助教)

Nature Communicationsは出版費も高く、そちらの支援があればいいのにと思います。今回は幸い、私の前の所属研究所が出版費を負担してくださるので助かりましたが、そうでなければかなり困った事態になっていました。

(生命機能研究科 教授)

- 論文をOAにしたい研究者が増えているが、研究費で高額なAPCを賄うことが難しいケースも多い。
- このような要望に対して、2019年6月より当事業を開始。

その他のAPC支援（英語論文投稿支援事業）②

■ 支援対象者（申請者の条件）

- ・掲載論文の第一著者または責任著者^{*1}で、掲載される論文の所属機関として本学が含まれる
- ・本学の研究者（ただし、対象の職位等については募集要項^{*2}にて指定）及び、学振特別研究員（DC, PD, RPD, SPD）

■ 支援対象論文

- ・論文タイプは、Article／Review／Conference paper
- ・掲載誌はScopusの収録誌で**CSPが80以上（申請者が教授の場合は95以上）**
- ・年度中に掲載（またはオープンアクセス化）が完了するもの

※申請時点でグリーンOAに際し出版社が定めるエンバーゴ期間（論文刊行後、一定期間リポジトリ等での著者稿等の公開を許さない期間）を満了している論文は対象外→リポジトリ等でのグリーンOAを行ってください

*1 共著者であり、第一著者が、自身の直接指導する本学学生または直接指導した本学卒業生（在学時の研究成果に限る）である場合も申請可能。

*2令和7（2025）年度版募集要項については、7月までに発出予定。（上記内容についても、変更となる可能性あり）

その他のAPC支援（英語論文投稿支援事業）③

■ 支援内容

- フルOA誌に受理された場合の論文掲載料、またはハイブリッド誌で論文をオープンアクセスとするための費用（=APCの支援）
 - 1件あたり上限30万円（CSPが95以上である場合は上限50万円）
 - 年度を通じての支援上限回数は申請者の属性等によって異なる
- ※基本的に募集要項の条件を満たす場合は採択される

詳細な情報はマイハンダイの募集要項をご確認ください。年度、前期/後期によって内容が変更となる場合があります。

※令和7（2025）年度版募集要項は7月までに発出予定（ここでの説明から変更される可能性あり）

詳細

マイハンダイ > 大学本部事務機構 > 研究推進関係 > 学内支援事業 > 研究成果の国際発信
<https://my.osaka-u.ac.jp/admin/kensui/joint/researchresults/publicationsupport>

次の動画

大阪大学のオープンアクセス支援②
：大阪大学学術情報庫 OUKA



次の動画

大阪大学のオープン入
：大阪大学学術情報庫 OURA

視聴後は
確認問題へ！

